医師の診断を受け、治癒証明書の記入をお願いしている感染症

感染症名	感染しやすい期間	出席停止後、登園開始の目安
インフルエンザ	発症後約 3 日は感染力が強い	発症後(症状が出て)5 日、かつ解熱後 3 日を経過していること
新型コロナウイルス	発症後約 3 日は感染力が強い	発症後(症状が出て)5 日、かつ解熱後 24 時間経過、痰や喉の痛みなどが軽快していること ※無症状の場合は検体採取日を 0 日目として 5 日を経過していること
百日咳	発症後約 3 週間（治療で短縮）	特有の咳が消失するまで、または 5 日間の抗菌剤による治療を修了していること
麻しん（はしか）	症状(発熱、咳)が出現する 1 日前から発疹出現後 4～5 日	解熱後 3 日を経過していること
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症数日前～症状消退まで	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が出て 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること
風しん（3 日はしか）	発疹出現数日前～後 5～7 日	発疹が消失していること
水痘（水ぼうそう）	水疱出現前 1 日～後 6 日	すべての発疹が痂皮化してること
咽頭結膜炎（プール熱） （アデノウイルス感染症）	発症数日前～後約 5 日	主要症状が消退した後 2 日を経過していること
結核	―	医師が感染のおそれがないと認めていること
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111）	多くは数日内	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によっていずれも菌陰性が確認されていること
流行性角結膜炎	発症後約 2 週間	医師が感染のおそれがないと認めていること
溶連菌感染症	咽頭に溶連菌が存在する間	抗生物質治療開始後 24～48 時間を経て全身状態が良好な場合
感染性胃腸炎 （ノロ、ロタ、アデノウイルス）	原因ウイルス、細菌による	主な症状が消失し、全身状態が良好な場合
ヘルパンギーナ	発症前日～数日が感染力が強い （ウイルス排泄は 2～4 週間）	主な症状が消失し、全身状態が良好な場合
マイコプラズマ感染症	2 週間前後	主な症状が消失し、全身状態が良好な場合
手足口病	発症後 5 日	食事ができて全身状態が良好な場合
伝染性紅斑（りんご病）	感染後 1 週間～10 日(紅斑出現時 にはほとんど感染しない)	紅斑出現時は元気がよく、全身状態が良好な場合
RS ウイルス	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良好な場合
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての保身が痂皮化（かさぶた）していること
突発性発疹症	―	解熱後、全身状態が良好な場合

学校保健安全法施行規則第 19 条　参照　　認定こども園足利幼稚園